



「指す」  
楽しさ共有しよう

対局中の表情は真剣そのもの(左)  
シンプルな将棋もあります(右)

人それぞれに多様な趣味がありますが、「将棋」が趣味の方にとって朗報なのが昨年11月に設立された「当別将棋部」です。今回は、設立の経緯と今後の活動について皆さんからお話を伺いました。

## きっかけは空き店舗

**若者** 4人が趣味で将棋を楽しんでいたことが始まりで、その会場は商店街にある空き店舗。<sup>※1</sup> 4人で打っていても何か物足りなく「せっかくだから同じ趣味の方を呼んで一緒に楽しもう」と、それぞれが知り合いに声をかけたところ1人、2人と参加者が増え現在は12～13人の方が参加しています。毎週木曜日の午後6時から2時間程度と決めています。全員が対局に夢中のあまりに午後9時近くまでやったこともあり。最後の一手まで真剣ですから、時間が経つのも忘れてしまうんです。ま

た、夜の活動なので当然、お腹も減ります。近くのお店で弁当やお菓子などを購入してほんの少しですが、商店街活性化の一助にとの思いもあります。

※1 中央通り会が(商店街)活性化事業の一環として、商店街にある空き店舗を活用し、様々な取り組みを実施しています。

## 勝敗は一手で決まる

**勝負** である以上、対局相手は年上か年下かは関係ありません。相手が次の一手をどう打つのか何通りも考えながら、自分の一手で予想通りの展開になった時に心の中で思わずガッツポーズ!! いわゆる「駆け引き」の面白さが将棋の魅力だと思います。また、全員が何度も挑戦していますが全く歯が立たないプロ級の腕前の方も1人いらっしゃいます。

## 世代間交流の場に

**将棋** というイメージですが、次の一手をどうするのか考えることは頭の体操にもなり、礼儀も身につけられます。また、誰でも簡単に将棋のルールが理解できてすぐに楽しめるようシンプルな将棋も用意してあります。小学校低学年の子どもでも楽しめますから家族連れも参加可能です。地域を超えて子どもから高齢者の世代間交流の場として当別将棋部を利用されると嬉しいですし、そんな場であって欲しいと思います。今後、部の活動が更に活発になり近い将来、当別町で大会を開催するのが大きな夢です。

誰でも気軽に参加できる「当別将棋部」では現在、男女そして年齢を問わず部員を募集中です。詳しくは山田健太さん(☎23-3732)まで問合せ下さい。(12月4日取材)